



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,739	△3.6	△118	—	△94	—	△108	—
25年3月期第3四半期	8,028	0.7	130	29.9	104	△10.0	△128	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △34百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △143百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△11.80	—
25年3月期第3四半期	△14.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,921	7,743	70.5
25年3月期	10,523	7,823	74.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,703百万円 25年3月期 7,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△3.5	△220	—	△180	—	△200	—	△21.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	9,382,943株	25年3月期	9,382,943株
26年3月期3Q	225,068株	25年3月期	223,888株
26年3月期3Q	9,158,657株	25年3月期3Q	9,159,330株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による円安・株高が進行する中、大企業を中心とした企業収益の改善や個人消費が持ち直すなど景気は緩やかな回復基調となりましたが、円安に伴う原材料価格の上昇、消費税率の引き上げ決定による消費低迷の懸念など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしております。

このような状況の中、当社グループは穀物相場の高止まりや円安による原材料調達価格の上昇、重油やLPガス等の燃料の高騰など自助努力だけでは吸収しきれない部分を販売価格へ転嫁すべく、主力事業の凍豆腐、加工食品を中心とした収益構造の改善に継続して努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は77億3千9百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、最需要期となる年末にテレビコマーシャルを実施、消費者向けの料理講習会の実施や凍豆腐の機能性や料理レシピを掲載したムック本の制作に携わったほか、業界団体主催のシンポジウムにて広報活動を行うなど、和食の無形文化遺産登録を追い風に市場の維持拡大に努めました。しかし、原材料価格など売上原価高騰分の販売価格への転嫁を進めると同時に販売促進費の削減を行ってまいりました結果、販売数量は減少し、売上高は30億7千万円（前年同四半期比4.9%減）と減少いたしました。加工食品においては、袋入りで減塩タイプの徳用品や好評を得ていた納豆汁の徳用品など新製品を発売し、3食タイプ主力品のリニューアルを行いました。カップ入りでは具材をリニューアルした製品を発売するなどの販売活動を行いました。しかしながら、凍豆腐と同様に販売促進費の削減などの影響から、売上高は33億5千1百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。その他の食料品では医療用食材などが堅調に推移しており、売上高は12億9千4百万円（前年同四半期比5.6%増）と増加いたしました。なお、売上高は僅かではありますが新規事業として大豆を丸ごと加工した素材型の製品である『大豆の華』3品を復活販売し給食・業務用チャンネルへの営業活動を開始しております。

利益面では、売上原価上昇分の販売価格への転嫁が遅れたため、また販売数量も一時的に減少したため、営業損失1億1千8百万円（前年同四半期は1億3千万円の利益）、経常損失9千4百万円（前年同四半期は1億4百万円の利益）、四半期純損失は1億8百万円（前年同四半期は1億2千8百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ3億9千7百万円増加し、109億2千1百万円（前連結会計年度末比3.8%増）となりました。総資産の増加の主な要因は、現金及び預金の減少1億6千7百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加4億4千7百万円があったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ4億7千8百万円増加し、31億7千8百万円（前連結会計年度末比17.7%増）となりました。負債の増加の主な要因は、退職給付引当金の減少5千4百万円などがあったものの、短期借入金の増加3億3百万円、支払手形及び買掛金の増加1億6千1百万円などがあったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ8千万円減少し、77億4千3百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。これは当第3四半期純損失1億8百万円の計上や剰余金の配当4千5百万円を行ったことなどによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ3.5ポイント減少し70.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、円安や穀物価格の高止まりなどによる売上原価の高騰分など自助努力だけでは吸収しきれない部分を、販売価格への転嫁により解消すべく販売活動を行ってまいりました結果、一時的に売上高が減少しております。その影響などにより、各段階利益が減少しており、平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期通期連結業績予想の達成は困難であると判断しこれを修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,372,459	2,204,932
受取手形及び売掛金	2,194,575	2,642,258
たな卸資産	1,124,276	1,089,884
繰延税金資産	2,019	1,030
その他	158,422	106,152
貸倒引当金	△1,857	△1,862
流動資産合計	5,849,896	6,042,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,583,073	5,634,448
減価償却累計額	△4,219,824	△4,292,922
建物及び構築物(純額)	1,363,249	1,341,525
機械装置及び運搬具	7,340,590	7,319,837
減価償却累計額	△6,434,117	△6,348,895
機械装置及び運搬具(純額)	906,472	970,942
土地	1,608,881	1,671,643
リース資産	70,520	50,906
減価償却累計額	△52,576	△27,327
リース資産(純額)	17,943	23,578
建設仮勘定	5,627	21,760
その他	440,746	458,150
減価償却累計額	△368,823	△377,379
その他(純額)	71,923	80,770
有形固定資産合計	3,974,098	4,110,221
無形固定資産	144,714	186,307
投資その他の資産		
投資有価証券	456,937	479,482
その他	97,921	103,104
投資その他の資産合計	554,859	582,586
固定資産合計	4,673,672	4,879,115
資産合計	10,523,569	10,921,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	961,818	1,123,618
短期借入金	33,601	336,648
リース債務	8,133	7,107
未払金	643,433	650,223
未払法人税等	18,349	12,244
賞与引当金	49,179	35,043
設備関係支払手形	19,784	43,611
その他	175,555	219,525
流動負債合計	1,909,855	2,428,023
固定負債		
長期借入金	6,122	9,197
リース債務	10,715	15,894
繰延税金負債	165,931	172,433
退職給付引当金	546,474	491,870
資産除去債務	46,658	46,950
その他	14,100	14,100
固定負債合計	790,001	750,445
負債合計	2,699,856	3,178,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,522,377	4,368,500
自己株式	△126,634	△126,965
株主資本合計	7,646,010	7,491,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,606	151,540
為替換算調整勘定	8,230	59,796
その他の包括利益累計額合計	144,837	211,337
少数株主持分	32,864	39,902
純資産合計	7,823,712	7,743,042
負債純資産合計	10,523,569	10,921,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,028,061	7,739,082
売上原価	6,051,055	6,028,016
売上総利益	1,977,006	1,711,065
販売費及び一般管理費	1,846,779	1,829,254
営業利益又は営業損失(△)	130,226	△118,188
営業外収益		
受取利息	2,524	1,444
受取配当金	6,743	8,132
補助金収入	—	5,901
雑収入	14,025	11,177
営業外収益合計	23,292	26,655
営業外費用		
支払利息	2,614	900
為替差損	1,746	559
休止固定資産維持費用	44,443	—
雑損失	353	1,055
営業外費用合計	49,156	2,514
経常利益又は経常損失(△)	104,362	△94,047
特別利益		
固定資産売却益	3,972	2,111
投資有価証券売却益	—	1,409
特別利益合計	3,972	3,521
特別損失		
固定資産除却損	9,575	6,305
固定資産売却損	171,778	—
減損損失	26,466	—
特別損失合計	207,820	6,305
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,485	△96,831
法人税、住民税及び事業税	27,760	9,163
法人税等調整額	47	777
法人税等合計	27,807	9,941
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△127,292	△106,773
少数株主利益	1,239	1,308
四半期純損失(△)	△128,532	△108,081

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△127,292	△106,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,645	14,933
為替換算調整勘定	△2,207	57,296
その他の包括利益合計	△15,852	72,229
四半期包括利益	△143,145	△34,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△144,164	△41,581
少数株主に係る四半期包括利益	1,018	7,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	8,005,725	8,005,725	22,336	8,028,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	538	538	—	538
計	8,006,264	8,006,264	22,336	8,028,600
セグメント利益	1,055,545	1,055,545	16,138	1,071,684

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,055,545
「その他」の区分の利益	16,138
全社費用(注)	△941,457
四半期連結損益計算書の営業利益	130,226

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、26,466千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,716,279	7,716,279	22,802	7,739,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	391	391	—	391
計	7,716,671	7,716,671	22,802	7,739,473
セグメント利益	800,735	800,735	16,273	817,009

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	800,735
「その他」の区分の利益	16,273
全社費用(注)	△935,198
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△118,188

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。